

2025年10月17日作成 Ver.3

《情報公開文書》

転移性去勢感受性前立腺癌に対する アンドロゲン遮断療法、ドセタキセル、ダロルタミド併用療法の 治療効果に関する研究

研究の概要

【背景】

アンドロゲン遮断療法（ADT）、ドセタキセル、ダロルタミドなるトリプレット療法は、転移性去勢感受性前立腺癌（以下 mCSPC）患者の生存期間を延長することが分かっています。本邦において実臨床での多機関同研究による報告は少なく、日本人集団に対する安全性、有効性を探索的に調べることが必要です。

【目的】

本研究の目的は、mCSPC に対するトリプレット療法の実臨床での有効性・安全性を探索的に調べることです。

【方法】

長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎原爆病院、光晴会病院、諫早総合病院、長崎医療センター、佐世保市総合医療センター、佐世保共済病院、佐世保中央病院、長崎労災病院、五島中央病院、嬉野医療センターにて mCSPC に対してトリプレット療法を行った患者さんを対象とします。

年齢、血液検査結果、病理学的所見、画像所見、治療経過でおこった有害事象など通常診療で得られた情報を収集し、治療に適格な患者さんを選択する因子を探索的に調査します。

対象となる患者さん

2023年1月1日～2025年6月30日の間に長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎原爆病院、光晴会病院、諫早総合病院、長崎医療センター、佐世保市総合医療センター、佐世保共済病院、佐世保中央病院、長崎労災病院、五島中央病院、嬉野医療センター泌尿器科で mCSPC に対してトリプレット療法を開始した患者さん。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景
- 既往歴、生活歴、家族歴
- 血液学的検査、生化学検査
- 尿検査、尿細胞診
- 画像検査
- 病理学的検査
- 免疫学的検査

- ・治療内容
- ・有害事象内容
- ・治療経過

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は2025年12月2日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026年5月30日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器科学分野 氏名：今村亮一 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095(819)7340
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
情報の提供のみを行う機関	長崎みなとメディカルセンター、長崎原爆病院、光晴会病院、諫早総合病院、長崎医療センター、佐世保市総合医療センター、佐世保共済病院、佐世保中央病院、長崎労災病院、五島中央病院、嬉野医療センター

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科 伊藤五穂
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
電話：095(819)7340 FAX 095(819)7343

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200
受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）